

# 走行チェックシート

日付	2011年7月3日 (日)		時間	~	イベント	2011MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦		
天気	晴れ		マシン	GSX-R600 L1	ライダー	手島雄介		
コース	名称	ツインリンク茂木			気温	28	°C	
	コンディション	DRY			気圧	985	hpa	
	路面温度	38°C	(計測時間)		湿度	52	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0045Q-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40			
	ファイナルレシオ	15 x 45(3.0)						
トランスミッション	1st	43/16	2.69	4th	35/23	1.52		
	2nd	40/19	2.11	5th	32/23	1.39		
	3rd	37/21	1.76	6th	32/26	1.23		
フロント	パーツ名	SHOWA KIT		TEN	-14			
	スプリング	10.00	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-	mm	油面	110	mm		
	イニシャル	7	mm	残ストローク	mm			
	COMP	-6		突き出し	-3	mm		
リア	パーツ名	SHOWA KIT (316.5mm)		TEN	12			
	スプリング	97.1	N/m	残ストローク	mm			
	自由長		mm	リンク	STD			
	イニシャル	9	mm	リンクロッド	STD	mm		
	COMP(HI)	MIN		車高	STD±0mm	mm		
	COMP(LO)	9						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ アンビートン02 (R2 ミディアム)		銘柄	ダンロップ アンビートン02 (R2 ミディアム)			
	サイズ	120/70R17		サイズ	180/55R17			
	エア圧	190		エア圧	150			
チェック	順位	17		ベストラップ	1' 57.873			
	水温	°C		油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>  
 今年最初の東日本での全日本開催です。  
 茂木も東日本大震災の被害があり、コース路面の70%近くを張り替えたようです。  
 事前テストの時は張り替えて直後だったため油が浮いて非常に滑りやすいかと思いましたが、走行しているうちにグリップが上がってきました。  
 新しい路面と古い路面のグリップの差は結構大きいようでした。  
 今回ST600クラスはブレーキが非常に厳しく、いろいろとテストしながら進めていきました。  
 茂木は世界中で一番ブレーキに厳しいサーキットです。  
 前回のオートポリスから車体姿勢を高い位置で使ってバネレートを低くし、動きのある車体でスタート。  
 タイヤもオートポリスで使ったR3(ソフト)でスタート。コンパウンドの確認ができたのでR2(ミディアム)を投入。結果R3(ソフト)ではもたないためR2(ミディアム)を選択。  
 車体の動きは出たが、少しリヤの余計な動きが多いためバネレートを徐々に上げました。  
 行き過ぎてネガの出るところまでいき、持って来た状態よりやや強めのレートで落ち着きました。  
 今度はフロントをそれに合わせて少し上げてバランスさせました。  
 BPFはコーナー中の高さが出てしまうので突き出し量を増やしヘッドパイプ(ステム)の位置を下げました。  
 気合を入れて臨んだ予選ですが残念ながら21番手グリッドからスタート  
 決勝が始まり好スタートを切り、15位で1周目を通過。  
 なかなか思うようにペースを上げることが出来ませんでした。後続を抑えて17位でチェッカー。  
 思うようにマシンとライダーをマッチングさせることが出来ませんでした。次回ST600はSUGOです。  
 応援よろしく願います。

レーシングサプライ  
 畑中 健太郎